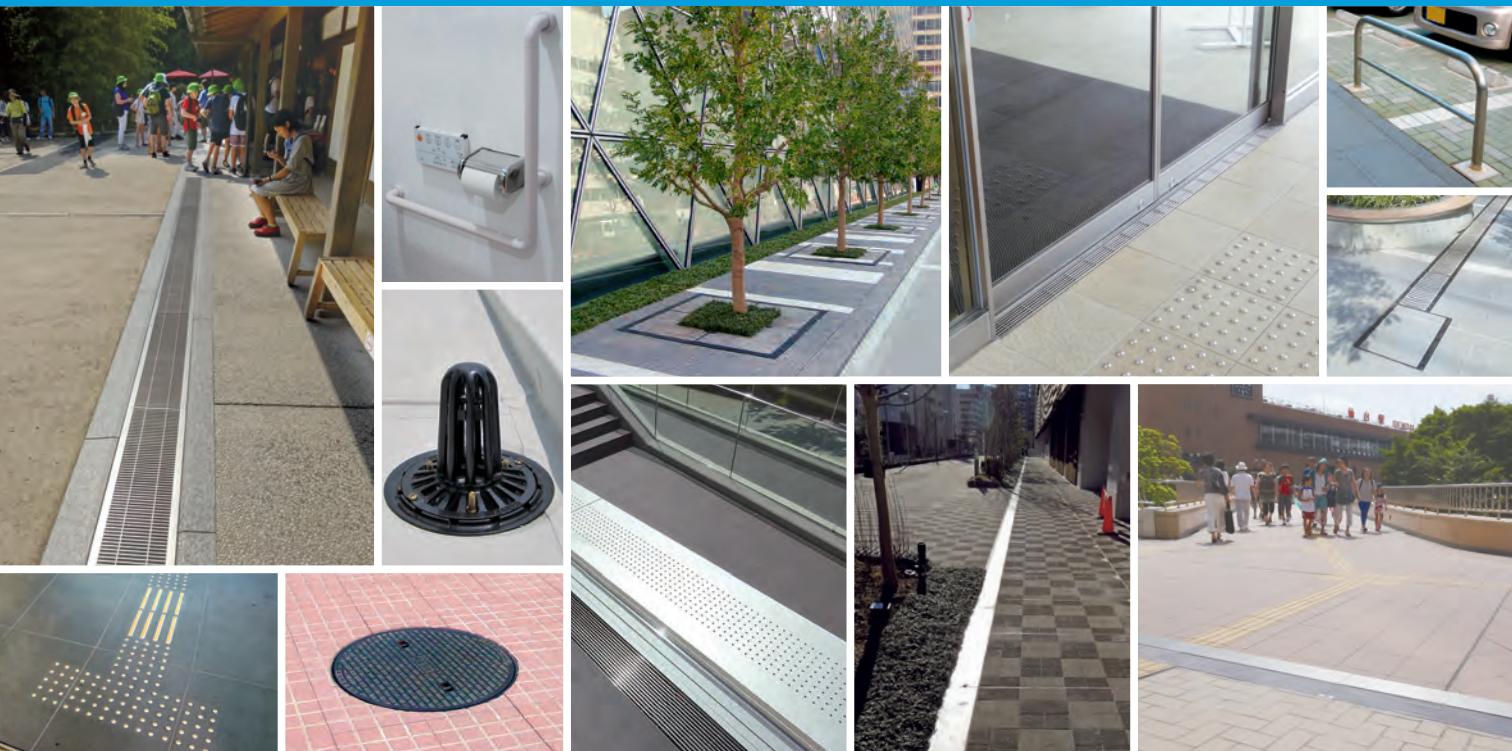


カネソウ株式会社

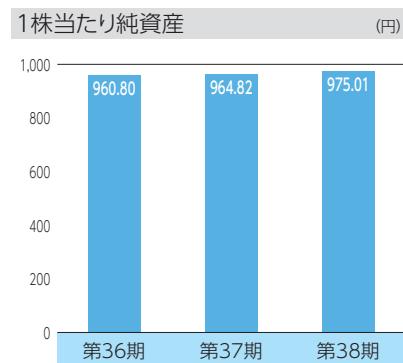
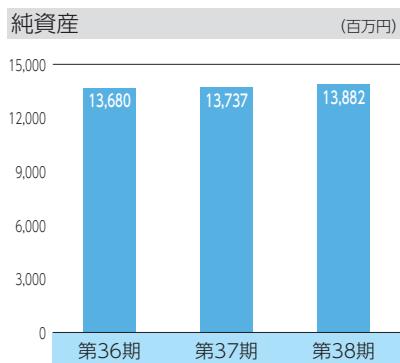
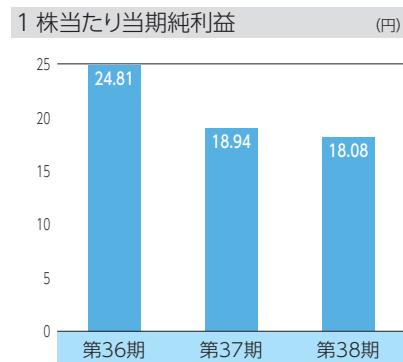
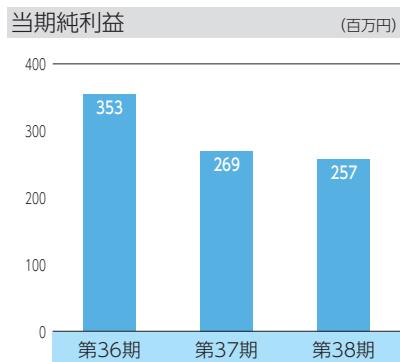
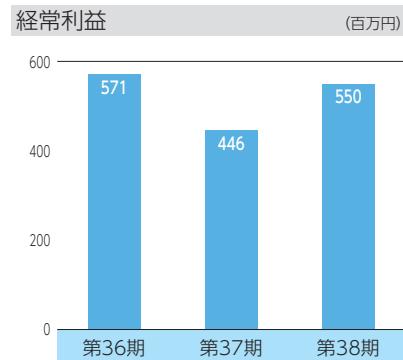
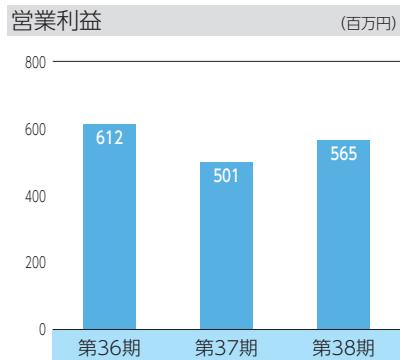
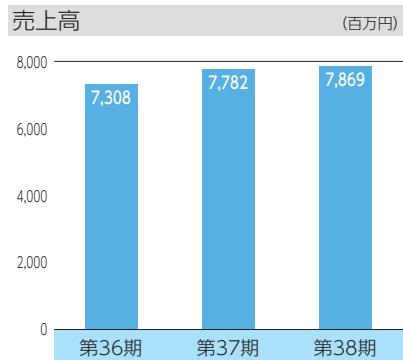
第38期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

証券コード ● 5979



財務ハイライト





株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第38期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長 近藤 健治

■事業の経過及び成果

当期におけるわが国の経済は、政府・日銀による経済金融対策を背景として、緩やかな回復基調が続きました。一方、昨年4月に施行された消費税率の引き上げによる影響や、円安による原材料価格等の上昇、及び海外景気の下振れリスクも懸念されることとなりました。このような経営環境のもとで、建設関連におきましては、堅調な公共投資に支えられ、民間設備投資も増加傾向となるなど、需要は底堅いものとなりました。しかしながら労働者不足やコストの上昇が続くなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況も続くこととなりました。その結果、売上高は78億69百万円(前年同期比1.1%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は、住宅建築着工が消費税増税後の影響があるものの、雨水排水・防水関連製品が堅調に推移したことと、設備投資の改善から外構・街路関連製品が増加したことから、25億1百万円(同2.4%増)となりました。スチール機材は、設備工事の改善から外構・街路関連製品が増加しましたが、全般に価格対応等厳しく、低調な状況が続き、13億71百万円(同4.8%減)となりました。製作金物は、建築金物、及

び外構・街路関連製品が増加し、防災関連製品は期初より納入が伸びたこともあり、34億72百万円(同4.3%増)となりました。その他は、土木需要が低調であったことと、建機、機械向け製品も需要回復には至らず、厳しい状況が続き、5億25百万円(同8.0%減)となりました。

利益につきましては、材料価格が高止まりにあり、諸物価の上昇と合わせ、コスト環境の改善は難しいものとなりました。また、需要期における市場環境がやや鈍化したことと、在庫の評価減を実施したことから、売上総利益は25億26百万円(同0.8%増)となりました。販売費及び一般管理費は、当期における退職給付費用が減少することになり、営業利益は5億65百万円(同12.7%増)となりました。営業外収支につきましては、金利の低下が続いていることから、受取利息が減少しましたが、期中における外貨預金の円貨への払い戻しによる為替差益を計上したことにより、改善しました。その結果、経常利益は5億50百万円(同23.2%増)となり、当期純利益は繰延税金資産の取崩しもあり2億57百万円(同4.5%減)となりました。

快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフトレン

建築金物



フローアハッチ

防災関連製品



免震構造建築用EXジョイント

緑化・造園関連製品



ガーデングレート

環境配慮関連製品



太陽光発電用あと付基礎金具

カネソウは歩みつづけます。

外構・街路関連製品



U字溝用スリット蓋

プラント関連製品



床板用グレーチング

衛生設備関連製品



上水道用鉄蓋

福祉関連製品



視覚障害者誘導用マーカ-

店舗・オフィス関連製品



自動ドアガード

製品分類別の状況

鋳鉄器材

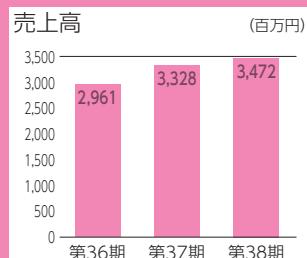


●主な製品
ルーフドレン、
マンホール鉄蓋、
車止め、
カラー舗装用みぞ蓋



ルーフドレン

製作金物



●主な製品
ステンレス製グレーチング、
ビット金物、
フローアハッチ、
EXジョイント、たてとい



EXジョイント

スチール機材



●主な製品
鋼板製グレーチング、
カラーグレーチング



鋼板製グレーチング

その他



新製品のご紹介



ルーフトレン外断熱用 防水層張掛け幅100mm

屋上の防水性能を向上させる、防水層張掛け幅100mm対応型ルーフトレンの、外断熱工法用です。断熱材をルーフトレンの間隙まで張ることができ、断熱材押えにより確実に断熱材を固定する構造で、熱損失が少なく施工がスムーズに行えます。

外断熱工法とは、鉄筋コンクリート構造等、蓄熱層となる躯体の外側に断熱材で覆う工法で、建物内部（部屋間）の温度差が少なくなり、冬の寒さや、夏の暑さの影響を少なくする、省エネルギー効果のある工法です。



鋼製溝付スリットみぞ蓋 ステンレス製 自由勾配タイプ プスマートスリット／トラフタイプスマートトラフ

建物出入口部や建物内、地下駐車場、歩道橋などで、多くの排水量を必要としない場所に設置するための、鋼製溝付補助側溝です。使用材料に、錆や耐食性に強いステンレスを採用し、見た目の高級感も向上させたみぞ蓋です。



免震構造建築用EXジョイント

地震から建物を守る構造として、その採用が増えている免震構造建築です。免震構造の建築物は構造上、水平方向に大きく変位するため、その変位を吸収するためのクリアランス（免震クリアランス）が必要となります。この免震クリアランスをカバーして、通常時の安全性を確保し、地震時の変位を吸収するのがカネソウ免震構造建築用EXジョイントです。



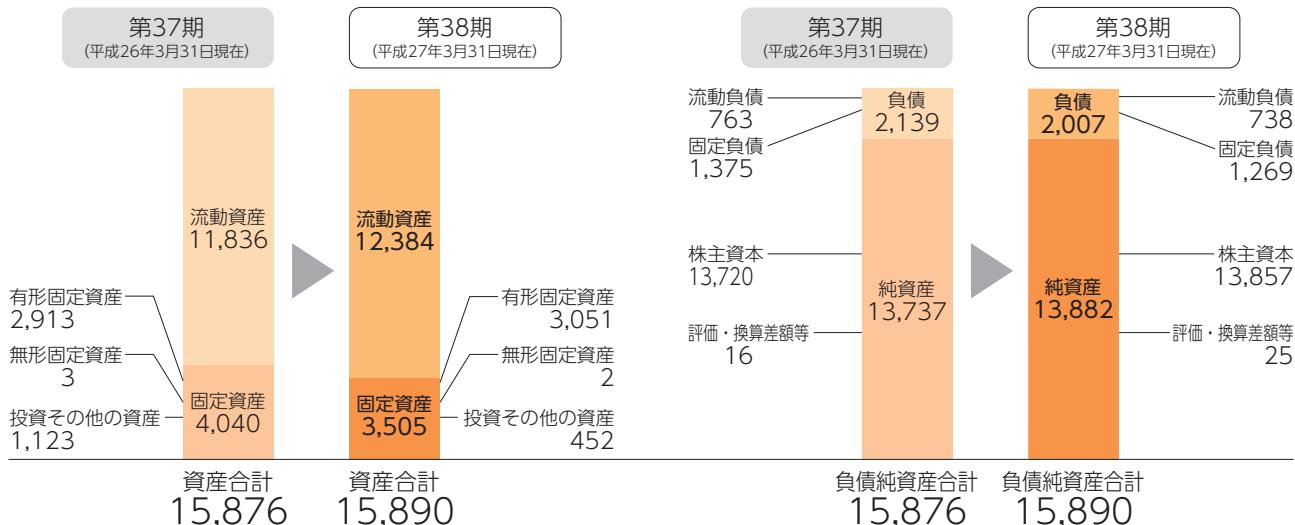
U字溝用スリットみぞ蓋

カネソウのU字溝用スリットみぞ蓋「ボードースリット・センタースリット・パーチカルスリット」が、都市環境デザイン会議（JUDI）主催の、第2回JUDIパブリックデザイン賞の「大賞」を受賞しました。

製品自らが主張せず、必要な機能を果たしながら都市環境デザイン向上に寄与するというコンセプトが評価され、「大賞」を受賞することができました。

貸借対照表の概要

(百万円)



■財政状態について

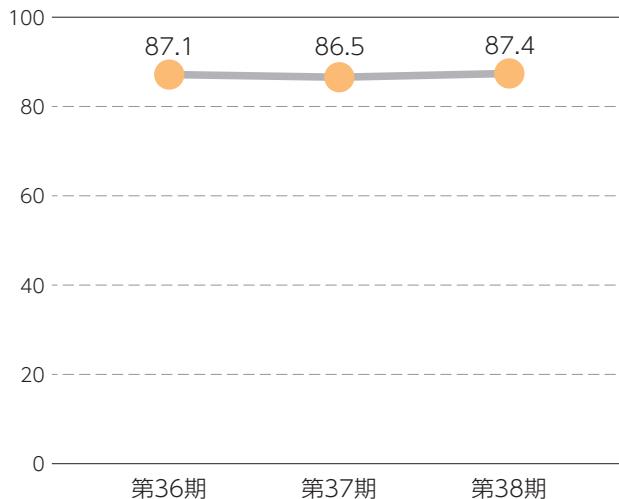
資産総額は158億90百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産及び長期預金の減少等により投資その他の資産が6億71百万円減少しましたが、現金及び預金(長期預金含む)が5億27百万円、機械及び装置が1億80百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は20億7百万円となり、前事業年度末に比べ1億31百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が1億27百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は138億82百万円となり、前事業年度末に比べ1億45百万円増加いたしました。これは利益剰余金が、剰余金の配当が2億13百万円ありましたが、当期純利益の計上が2億57百万円、会計方針の変更による増加が92百万円あったこと等によるものであります。

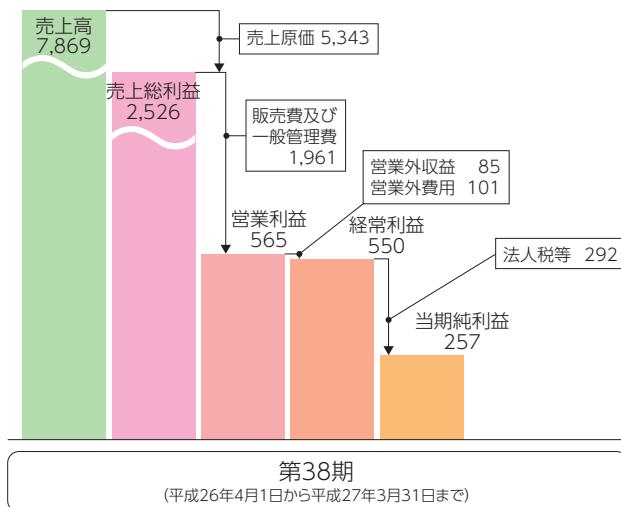
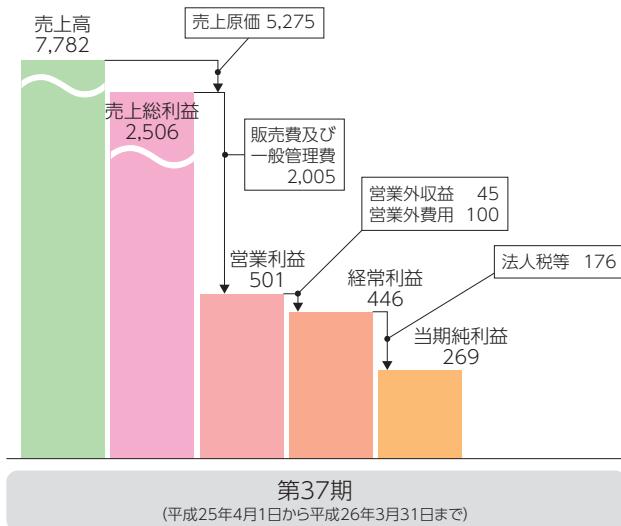
自己資本比率の推移

(%)



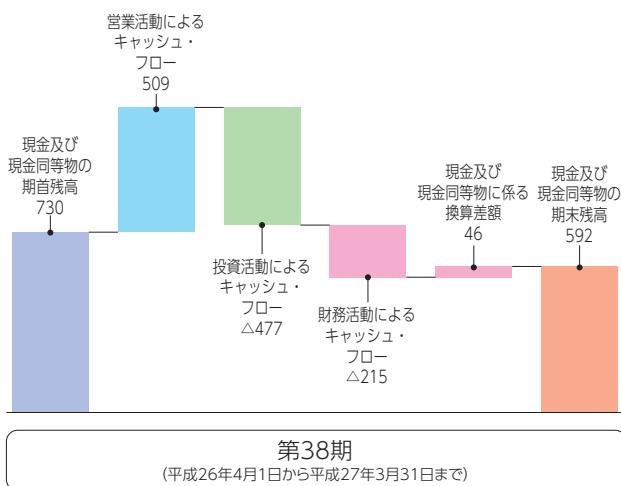
損益計算書の概要

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、5億9百万円（前年同期比48百万円の収入減）となりました。これは主に、法人税等の支払額が2億35百万円、たな卸資産の増加が58百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が5億50百万円、減価償却費の計上が2億7百万円、売上債権の減少が35百万円あったこと等によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は、4億77百万円（同40百万円の支出増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が86億42百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が87億57百万円、有形固定資産の取得による支出が3億61百万円あったこと等によるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は、2億15百万円（同0百万円の支出減）となりました。これは主に、配当金の支払が2億13百万円あったこと等によるものであります。

当社の概要

商号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電話番号	(059) 377-4747 (代表)
設立	昭和54年10月23日
資本金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従業員数	247名

役員

(平成27年6月26日現在)

代表取締役名誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	近藤 健治
専務取締役	南川 智之
常務取締役	林 正嗣
常務取締役	福田 昭人
取締役	太田 一二三
取締役	石川 文和
取締役	伊藤 博幸
取締役	清水 竜生
取締役	豊田 悟志
取締役(監査等委員)	野呂 宏
取締役(監査等委員)	大竹 雅司
取締役(監査等委員)	木原 昌弥

(注) 取締役(監査等委員) 大竹雅司及び木原昌弥の両氏は、社外取締役であります。

事業所



① 本 朝日工場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東京支店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番6号 内本町B&Mビル6F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	14,238,439株
株主数	684名
単元株式数	1,000株

大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
小林鑄造有限会社	3,750	26.33
小林正和	3,150	22.12
小林昭三	1,000	7.02
小林誠子	1,000	7.02
小林裕和	1,000	7.02
榑原静枝	450	3.16
神谷布左子	450	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	156	1.09
株式会社百五銀行	156	1.09
カネソウ従業員持株会	154	1.08

(注)上記のほか、当社保有の自己株式161千株があります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

